学校だより

みんなの森合小

～ 自分の考えをもつ力 人を大切にする力 自分を表現する力 チャレンジする力～

NO. 2【懇談会資料】
令和５年４月２１日
発行者
森合小学校長　渡邉かほる

みんな（子供・保護者・地域・教職員）で創る学校！森合小

～子供，保護者，地域住民，教職員のみんなが自分事として・・・～

令和５年度がはじまって，約２週間。子どもたちは，入学・進級した学年で，喜びいっぱい，新たな気持ちで，日々の学びに取り組んでいます。授業参観での子供たちの姿は，いかがだったでしょうか。さて，令和５年度の森合小は，みんなで創る学校として，今年度も,さらにパワーアップしていきます。そのために，地域や保護者の皆さんとは，対話・コミュニケーションを大切にして，共に，一緒に，学校を創っていきましょう。

令和５年度　学校経営

【基本的な考え】

◎　誰一人として取りこぼすことのない、すべての子どもの学習権を保障する。

地域の子供が通う公立学校であることの意味について再確認し，誰一人として取りこぼすことなく，学校に通い学ぶことを最優先する。子供一人一人の違いや特質を個性と捉え，すべての子どもにとって「安心な居場所」になるよう最善を尽くす。

○　地域住民・保護者・子供・教職員のすべてが、「みんなの学校」をみんなで創る。

学校は，長い間，その地域で大切にされ，地域の人々を育んできた「地域の宝」であることを自覚し,地域住民・保護者・子ども・教職員のすべての人々が，自分事として「みんなの森合小」をみんなで創っていく。

○　予測不可能な時代に生きる「持続可能な社会の創り手」を育成する。

変化の激しい変化，予測困難な時代は正解が一つではなく，他者と納得解を見出していく力が必要である。「持続可能社会の創り手」を目指していく。

森合小学校は　どの子も安心できる居場所
～子供も教職員も幸せな学校～

結果ではなく過程が大事
・結果で評価しない。
・**失敗は，やり直し**できる。
・トライ＆エラー　・全てが学び
・トラブルから学ぶ

全職員が全校生の担任
・担任ではなく**担当**・
・全職員で対応する。

子どもが育つ学校
・子どもを育てるから脱却する。
・指示や指導ではなく
教師や大人は**伴奏者**である。

【大切な約束】　相手（自分）が嫌がることはしない，言わない
・自分や友達の心と体を大切にする（いじめは，しない，同調しない，見て見ぬふりもしない。）

[みんなの森合デー]・・・学校開放日リニューアル　参観するのではなく，学校を創る一員として活動する日

○　５・７・９・１１・１・２月の中旬に設置しました。業間休み時間～５校時（給食・清掃も含）の普段の姿を開放します。授業を見せるのではないので,テストをしている時もあります。「子供がきちんとしている。」「先生の教え方がうまい。」等と,評論家の来校はお断りいたします。目の前の子供たちの姿を見つめ，何ができるか考えて行動する大人の姿を見せてください。

[教科担当制]・・・みんなが全校生の担当。まず，学級の枠を超えて，担当という取組み

○　主に学年の中で，先生方が担当する教科を分担して授業をします。昨年度の実践を踏まえ，いろいろな時間で行います。

[保護者主体の個別懇談会]・・・先生が子供の様子を伝えるのではなく，保護者の思いを聞く日

○　「○○ができています」と先生が伝えることが多かったのですが，保護者の皆さんに語っていただく時間としました。対話・コミュニケーションを大事にする学校ですので，子供や教育について語り合います。

[価値ある教育活動、教育課程の実施]・・・アフターコロナ。コロナ禍前に，すべて戻らない。

○　コロナ禍では，行事や活動など学校教育の意味を深く考えさせられました。それを活かし，価値ある教育活動を進めます。
・運動会･･･１０月実施。１学期の子供たちの育ちや熱中症を考え、「秋」実施を継続します。演技や応援に集中するように「午前のみ」です。運動会で，鼓笛披露を断念し，５月１５日「みんなの森合デー」に見ていただきます。

子供も先生も幸せな学校⇒教職員の勤務時間　８：１０～１６：４０（休憩１２：３５～１３：２０）
・・・休む時は休み，時間を守る，健全で，楽しく働く大人の姿を見せていきます。